

10月21日のウクライナ情報

安齋育郎

①ドイツのパレスチナ支援活動(2023年10月18日)

※投稿者コメント:親パレスチナ活動参加者とドイツ警察が衝突。ドイツ・ベルリンも荒れてきた。中東での争いがドイツ国内でも再現される事に、もう違和感さえ感じないのかもしれない。そもそも世界が多文化共生できていないのに多文化共生を強制する矛盾に世界が気づくのはいつなのか?

<https://twitter.com/i/status/1714544263709839714>



上記、ベルリンでの暴動の別映像。

やはり病院攻撃後に事態は悪化したようだ。

しかし、病院攻撃はイスラエルによる攻撃かハマスの誤射かは明確になっていない。

<https://twitter.com/i/status/1714545423619334436>



<https://twitter.com/martytaka777/status/1714544263709839714?s=09>

②ガザ地区へのイスラエルによる空爆は続く(2023年10月18日)

<https://twitter.com/i/status/1714323352452808917>



生後 10 日未満の赤ちゃんが死亡

<https://twitter.com/i/status/1714323352452808917>



死者は蘇らず

<https://twitter.com/i/status/1714323352452808917>



<https://twitter.com/Tamama0306/status/1714323352452808917/video/1>

③イスラエルがガザでキリスト教病院を空爆、死者 800 人以上(2023年10月18日)

※投稿者コメント:ヨルダン川西岸地区のラマッラーで大規模な抗議活動が生じ、人々はパレスチナのマフムード・アッバース議長(=us傀儡)の打倒を求めている。

シオニストの戦犯の加速にパレスチナや近隣諸国の人々は黙ってはいない筈...

※安齋注:事実関係は更にフォローしたい。

<https://twitter.com/i/status/1714362379025232005>



④ドイツにはもはやウクライナに供与した旧式装備品の部品もなければ砲弾もない(2023年10月20日)

旧式のドイツ製ゲパルト自走式対空砲は、比較的安価な砲弾を搭載しているため、ウクライナの防空において重要な役割を果たしている。一方、ドイツは迅速な修理に必要な部品の供与を引き延ばしている。なぜなら、ゲパルトの生産はずいぶん前に終了しており、再開が必要とされているが、ドイツはウクライナや東欧で自国の防衛企業の事業を軌道に乗せることができずにいるからだ。南ドイツ新聞が報じている。

同紙によると、ロシアのミサイルや巡航ミサイル、ドローンに対応するためにウクライナに供与された数十門のドイツ製ゲパルト自走式対空砲は、ウクライナ軍にとってきわめて重要。ウクライナの兵士たちは、対空砲が機能しているあいだは満足しているという。「一方、ドイツの対空砲は常に正常に機能するとは限らない」と南ドイツ新聞は報じている。その場合、修理が必要となる。そこで問題が生じる。ドイツ側は、その提供を約束した技術資料も部品も供与していないため、ウクライナの整備士たちは外国製の装備品を自分たちで修理することができないというのだ。

ゲパルトの主な問題は、電力網とトランジスタにある。トランジスタはすぐに焼き切れてしまう。そのためミサイルの誘導システムが損傷し、命中率が低下する。これは、より多くの砲弾が必要とされることを意味している。一方、ウクライナの軍事技術者たちは、資料があればこの問題は解決できると主張している。また南ドイツ新聞によると、予備のトランジスタも必要だが、ドイツはこれも提供していない。ウクライナはドイツ国防省に対してゲパルトのメンテナンスについて問い合わせを繰り返しているが、いまだに回答はないという。

南ドイツ新聞は、部品などの供与が遅れている理由について、ドイツ連邦軍が 2010 年にゲパルト

の運用を止めたため部品が不足しており、ドイツからでさえ迅速に供与できないことを明らかにした。砲弾の生産も停止されたという。ドイツの防衛企業ラインメタルがゲパルトの生産及び修理を再開するまでに数か月かかった。なお、ゲパルトの修理には大きな労力と時間を要する。ウクライナ西部に合弁会社を設立して修理を行うというラインメタルの計画は未だに実行されていない。一方、南ドイツ新聞は、ロシアは自国の経済を再建し、現在は年間少なくとも新たな戦車 200 両と、特別軍事作戦開始前の倍に当たる 200 万発の砲弾を生産していると指摘している。

同紙はまた、最も控えめに見積もってもウクライナは 2022 年のわずか 7 か月間で戦車 650 両以上とその他にも 4000 の装備品を失ったため、残っている装備品の修理はウクライナにとって極めて重要だと強調している。ウクライナ軍には防空でゲパルトに代わるものが何もないため、ウクライナの整備士たちはドイツから支援が届くことに期待するしかないという。

これより先、ウクライナは西側から供与された壊れた武器や未納の武器に 8 億ドルを支払ったと報じられた。



<https://sputniknews.jp/20231020/17481572.html>

⑤【視点】ガザ病院の惨劇はなぜ起こったか 露専門家、軍事的側面から分析(2023年10月19日)

イスラエルとの戦闘が続くパレスチナ・ガザ地区で17日、病院が爆撃を受け約500人が死亡した。スプートニクは専門家に話を聞き、軍事的側面から惨劇の原因を探った。

パレスチナ・ガザ地区を実効支配するイスラム組織・ハマスは17日、ガザ市中心部のアル・アハリ病院へのイスラエル軍の攻撃で、500人が死亡したと発表した。一方、イスラエルはハマスの武装組織「イスラム聖戦」によるロケット弾発射の失敗が原因として関与を否定している。

使用爆弾は米製か

双方の主張が食い違うなか、真実はどこにあるのだろうか。露軍事専門家のアレクセイ・レオンコフ氏は、攻撃時の爆風で揺れる病院の映像は、イスラエル軍の攻撃によるものだとするハマスの主張に合致すると指摘する。

「爆発の威力と映像で聞こえる特徴的な音から判断すれば、この攻撃は米国製の GBU31(編注:誘導爆弾ユニット 31)の可能性が高い」

GBU31 は通常の無誘導爆弾に、精密誘導を可能にする装置 JDAM を搭載したもの。スマート爆弾とも呼ばれる。

露ミサイル・砲科アカデミーの軍事専門家、コンスタンティン・シブコフ氏もレオンコフ氏と同様の考えを示した。

「イスラエル空軍が GBU31 を誤って投下した可能性は高い。何らかの制御システムが不具合を起こし、誤った場所に落下したのかもしれない」

コンスタンティン・シブコフ(露ミサイル・砲科アカデミー、軍事専門家)

イスラエルの主張の根拠は

一方、イスラエル側は「イスラム聖戦」によるロケット弾の発射失敗で、悲劇が起こったと主張する動画を投稿している。イスラエル軍は、ミサイル攻撃であれば駐車場が炎上したり屋根が飛び散るのではなく、大きなクレーターが残るはずだと指摘。軍のダニエル・ハグリ報道官は「駐車場などに損傷はあるが、外からの直撃はなかった」と説明している。

だが、シブコフ氏はイスラエル軍の説明に疑問を呈した。

「クレーターは通常、建物がない場所に攻撃が当たった場合にできる。病院に直撃したとすれば、建物が崩壊するのでそこに大きな穴が空くわけがない」

コンスタンティン・シブコフ(露ミサイル・砲科アカデミー、軍事専門家)

シブコフ氏は、被害の大きさを考慮すれば、非常で大型で精巧な兵器が使用されたと指摘。イスラエルの諜報機関が暗躍するガザ地区で、そうした大規模な装置を隠せるとは考えにくいと説明している。さらに、信頼できる情報が不足しておりミサイルか誘導爆弾かを断定することは難しいとしながらも、「イスラエルが最新鋭のミサイルを保有しているのに対し、パレスチナの武装勢力はそうではない」とも付け加えた。

「いずれにせよ、ハマスの痕跡は見えない。彼らはここまでの被害を出せるミサイルを製造することはできない。イスラエルが意図的に病院を攻撃し、そこにいたかもしれない Hamas 過激派の殲滅を企図した可能性も排除はできない」

コンスタンティン・シブコフ(露ミサイル・砲科アカデミー、軍事専門家)

イスラエル擁護の米国

ガザ病院爆撃直後にイスラエルを訪問した米国のジョー・バイデン大統領は、イスラエル軍の説明に同調した。首脳会談でバイデン大統領はベンヤミン・ネタニヤフ首相に対し、「爆撃はあなた方ではなく、相手方が引き起こしたようだ」と述べた。また、攻撃に対しては「深い悲しみと憤りを覚える」としたうえで、米国は「今日も明日も、そして常に」イスラエルの側にあると約束した。

また、米 CNN は、米国の情報機関が「攻撃は空から行われたものではない」と分析していると報じた。ここでもイスラエルが言う「現場には爆弾が使用されたことを示すようなクレーターはなかった」という主張を展開している。

今回の攻撃を受け、予定されていたバイデン大統領とエジプト、ヨルダン、パレスチナ(ヨルダン川西岸地区)などアラブ諸国・勢力との首脳会談は中止になった。バイデン大統領のイスラエル訪問前、米国防総省はイスラエルへの非難は避ける形で、「戦争のルール」を守るよう呼びかけた。また、ホワイトハウスはバイデン大統領がイスラエルに対し「友人としていくつかの難しい質問を投げかける」としていた。



ロシアの立場

ロシアのウラジーミル・プーチン大統領は 18 日、訪問先の中国・北京での記者会見で、病院爆撃について「悲劇で人的大惨劇」と述べた。さらに、「これが紛争を終わらせなければならないというシグナルになると期待している」として、即時停戦を支持する考えを改めて表明した。

また、ロシアのマリア・ザハロワ報道官はこれまでに、スポーツニクラジオの番組に出演した中で、「攻撃は犯罪で人間性を失う行為だ」と強く非難。「衛星写真を見れば誰が撃ったか明らかだ」と述べた。露元大統領で現在は安全保障会議の副議長を務めるドミトリー・メドベージェフ氏も、最終的な責任は、「戦争で金儲けをしている米国にある」と指摘している。

ロシアは双方に即時停戦と交渉の再開を呼び掛けている。ウラジーミル・プーチン大統領はこれまでに、紛争を解決するためには、パレスチナの独立主権国家樹立に関する国連安全保障理事会の決定を履行する必要があるとの考えを示している。



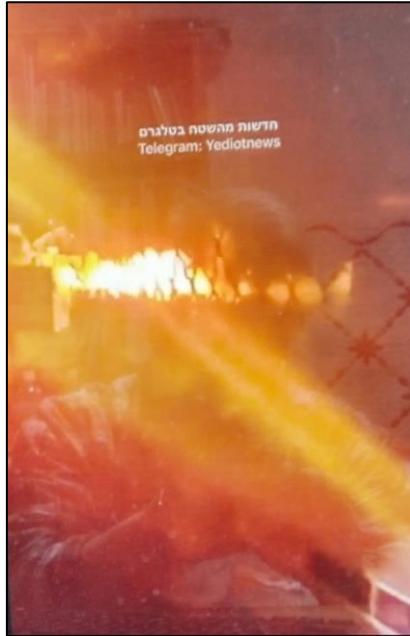
<https://sputniknews.jp/20231019/17480247.html>



【関連情報】

●バプテスト教会が運営する #ガザ地区 のアル・アハリ・アラブ病院への空爆の瞬間を映した動画が、イスラエル市民によって SNS に公開された。

<https://twitter.com/i/status/1714541091180224912>



https://twitter.com/sputnik_jp/status/1714541091180224912

●爆撃から一夜明けた #ガザ地区 のアル・アハリ・アラブ病院。損傷した自動車や当時病院にいた人々の荷物が散乱している様子が確認できる。

動画:パレスチナポータルサイト「Quds」より

<https://twitter.com/i/status/1714542621077753857>



https://twitter.com/sputnik_jp/status/1714542621077753857

⑥土大統領が人権謳う西側を批判、中東情勢で「火に油を注ぐことしかしない」 (2023年10月19日)

国連安保理は中東情勢における責任を再び果たせなかった。トルコのレジェップ・タイイップ・エルドアン大統領が SNS への投稿で指摘した。

エルドアン大統領は SNS の X に投稿した中で、「ますます無力になっている国連安保理はまたもやその責任を怠った」と記した。先に国連安保理で米国大使はガザ地区の住民に対する地区南部への避難指示撤回を求めるブラジルの決議案に拒否権を発動していた。

エルドアン大統領はこの事態を受け、「人権と自由を擁護する西側諸国は火に油を注ぐ以外に何の手段も講じていない」とし、国境検問所、モスク、学校、民間居住地に移住してきた罪のない人々に対する爆撃を非難した。

エルドアン大統領によると、ガザ地区のバプテリスト系病院「アル・アハリ」への攻撃により、ガザの虐殺は「新たな次元に移行」したという。エルドアン大統領はこの攻撃について人道に対する犯罪とし、ガザ住民への攻撃はジェノサイドのレベルに達したと指摘した。大統領はイスラエルの空爆で命を落とした人々の冥福を祈るとし、速やかな停戦と恒久的安定の実現に向けて政府として努力する姿勢を示した。

ガザ地区にあるバプテリスト系の病院「アル・アハリ」は 17 日に攻撃を受けた。ガザ保健省は、471 人が死亡、300 人以上が負傷し、その大半が女性と子供だったと発表した。パレスチナとイスラエルはこの攻撃について互いを非難している。

パレスチナ外務省はこの攻撃について、イスラエル軍機によるものとしている。一方、イスラエル軍はイスラム主義組織が発射したロケット弾による誤爆だと主張している。ジョー・バイデン米大統領は、ガザ地区の病院に対する攻撃について、イスラエルは攻撃に関与していないと述べた。



https://sputniknews.jp/20231019/17472301.html?rcmd_alg=collaboration2

⑦米情報機関はガザの病院に対する空爆を否定、地上での爆発が原因＝米メディア (2023年10月19日)

米国の情報機関はパレスチナ・ガザ地区の病院に対する攻撃について、これは空から行われたものではないと分析している。米 CNN テレビが情報筋の話として報じた。

情報筋によると、米情報機関が収集したデータの中には、空爆ではなく地上爆発であるとの分析があるという。

CNNによると、「火災による大規模な被害、及び散乱した破片から、地上レベルで始まった爆発(の結果)に一致している」という。また、現場には爆弾が使用されたことを示すようなクレーターはなかった、と情報源は分析しているとのこと。

ガザ地区にあるバプテスト系の病院「アル・アハリ」は17日に攻撃を受けた。



<https://sputniknews.jp/20231019/17471168.html>

⑧エアバースト・モードではクレーターはできない(2023年10月18日)

ガザのアル・アハリ病院にクレーターがないことから、イスラエルによる空爆は否定されると人々は主張する。

しかし、JDAM(MK.83 GBU-32を含む)にはエアバーストモードがある。
爆発による榴散弾、衝撃波、火球を利用して殺傷する。

<https://twitter.com/i/status/1714587091471052818>



<https://twitter.com/zhao dashuai/status/1714587091471052818>

⑨米国国務省当局者、ワシントンのイスラエルに対する「盲目的な支援」を理由に辞任 (2023年10月20日)

米国国務省高官のジョシュ・ポール氏は、バイデン政権がハマスとの紛争中にイスラエルに武器弾薬を提供したことに抗議し、政治軍事局の議会広報部長の職を辞任した。



https://twitter.com/kinakomochi_215/status/1715160032642478534?s=09

⑩英国のウクライナ向け武器が「枯渇」(Telegraph - RT World News、2023年10月13日)

英国はウクライナに送る武器を使い果たしたので、そのギャップを埋めるために他の国に働きかけるべきだと、軍の高官筋が月曜日にテレグラフ紙に語った。しかし、報道によれば、EUとアメリカの備蓄も、キエフを支えようとする努力によって枯渇しているという。

「その情報筋は、「われわれは、買えるだけのものを手放した。ウクライナに提供する装備品の調達は続けるが、今必要なのは防空資産や大砲の弾薬のようなもので、そのすべてが枯渇している」。

英国は昨年2月以来、ウクライナへの軍事援助に46億ポンド(55億6000万ドル)を費やしている。日曜日のテレグラフ紙の論説で、ベン・ウォレス前国防長官は、先月退任する前にリシ・スナク首相に23億ポンド(27億7000万ドル)の追加支出を要請したと述べた。

英国はすでにウクライナにロケット砲、巡航ミサイル、装甲車、主力戦車などの兵器を供与している。軍関係者は、「我々は、提供できるものはほとんどすべて提供した」と述べ、英国はチャレンジャー2戦車をチャレンジャー3仕様にアップグレードするために、すべてを保持する必要があると指摘した。

「私たちが手放す戦車はすべて、私たちが持っている戦車より1台少ないのです」と彼は言う。「何十億も多く提供することは、何十億もの英国製キットを提供することではない」と情報筋は続け、英国はまた、「他国がより多くの資金と武器を提供するよう促す」役割を果たすことができると付け加えた。

しかし、他の国々がその努力を強化できる立場にある国はほとんどない。アメリカは軍事援助だけで460億ドル以上を費やしているが、キエフへの支援は16億ドル程度しか残っておらず、ジョー・バイデン大統領の政権が議会からさらなる支援を得ようとする努力は、共和党の反対によって妨げられ

たまたま。国防総省も、ウクライナに送られた兵器を自国の備蓄から補充する資金が不足していると警告している。

欧州では、ハンガリーが EU の 5 億ユーロの武器弾薬のウクライナへの提供を阻止し続けており、欧州当局者は月曜日にポリティコに対し、EU のどの国も自国の安全保障を脅かすことなく、自国の備蓄からこれ以上の兵器を提供することはできないと語った。

ゼレンスキー・ウクライナ大統領は、F16 戦闘機や長距離ミサイルなど、より先進的な兵器を西側のパトロンに何度も要求し、8 月には、ウクライナ軍がロシアに軍事的勝利を収めるまでは、ウクライナにとって「何も十分ではない」と宣言した。

先週キエフで開催された武器製造業者とのフォーラムで、ゼレンスキーは西側諸国が「没収したロシアの資産」でウクライナの軍に資金を提供することを提案した。EU、アメリカ、そしてその同盟国は、ウクライナ紛争に関連した制裁措置の一環として、ロシアの中央銀行が保有する数千億ドル相当の資金を凍結しているが、この資金を差し押さえる法的メカニズムは見つかっておらず、西側の銀行で宙に浮いたままになっている。



<https://sololaki.ru/uk-weapons-for-ukraine-have-dried-up-telegraph-rt-world-news/>